

今号では基本的な状況補語節(Cláusula Circunstancial)の一つである時の従属節(Cláusula Temporal)を扱います。簡単なようでも種類が多く、直説法と接続法の使い分けに関わる表現なので中級者がまず習得すべき構文と言えるでしょう。

まず、一番基本的なのがcuando〜で導かれる文です。例を見てみましょう。

**Cuando** llego al Aeropuerto de Guadalajara, siempre llamo a mi amigo íntimo.

グアダハラ空港に着くといつも親友に電話する。

**Cuando** llegue al Aeropuerto de Guadalajara, llamaré a mi amigo íntimo.

グアダハラ空港に着いたら親友に電話しよう。

前の文のcuando節は現在の習慣、つまり「実現」(着くときはいつも)を表しているので直説法、後の文では「未実現」の内容(着いたら)を表しているので接続法を使います。このように「未実現の副詞節内」では接続法が使用されるのは、以下に見る他の接続詞の場合でも基本的に同様です。

ところで稀ですが、接続詞cuandoの後に動詞が省略されることがあります。“cuando la guerra”「戦時中には」、 “cuando joven”「若い頃」などがあります。

それではcuando以外の表現を見ていきましょう。時間の前後関係を表す表現として“antes (de) que”と“después (de) que”があります。前置詞のdeが入る場合と入らない場合があり、方言や個人の好みに依りますが、スペインではde入りが普通ようです。文法的には前者だとqueは比較のque、後者だと名詞節を導くqueと解釈されます。ただ実際にはそう単純に割り切れない面があるのですが、ここではこれ以上触れません。

**Antes de que** me olvide, te doy mi nueva dirección.

忘れる前に君に新しい住所を伝えておこう。

**Después de que** terminemos este trabajo, saldremos a tomar algo.

この仕事が終わった後、何か飲みに出かけよう。

antes (de) queの場合は、節内の行為はまだ実現していない(「〜の前に」だから当然そうなる)ので常に接続法が使われます。一方、después (de) queの場合は、両方の可能性があります。つまり、過去形の場合はその行為が既に実現しているので直説法になります。

**Después de que** terminamos ese trabajo, salimos a tomar algo.

その仕事が終わった後、何か飲みに出かけた。

次に同時性の表現“mientras (que)”「〜する間」を取り上げます。

**Mientras** tú te diviertes fuera por la noche, yo estudio encerrado en la habitación.

君が夜外で楽しんでいる間、僕は部屋に籠って勉強している。

この接続詞には「〜する一方…」という「対比」用法もあります。この用法の場合は“mientras que”とqueを付けた方がよいとされています。

**Mientras que** Hillary cuenta con el apoyo de los liberales, Trump gana los votos de la clase blanca trabajadora y conservadores.

ヒラリーがリベラル派の支持を当てにする一方、トランプは白人労働者階級や保守主義者の票を得る。

続いて二つの行為の並行した進行「〜に従って」を意味する表現です。“a medida que〜”が代表的です(この場合conforme, segúnもほぼ同じ意味です)。

Últimamente hay muchos accidentes de tráfico causados por ancianos, pues **a medida que** avanza su edad van perdiendo reflejos.

最近老人による交通事故が多い。それは、年齢が進むにつれ反射神経が低下するからだ。

「〜するやいなや」を表す表現として“en cuanto〜”などがあります。

**En cuanto** salga la convocatoria de la plaza de ayudante, avísemelo sin falta.

助手の職の募集が出たら必ず私に知らせてください。

ほぼ同じ意味を表す副詞句として“tan pronto como〜”, “apenas〜”, “no más〜”, “nada más〜”などがあります。最後の“nada más〜”は不定詞を使うのが特徴です。

**Nada más** conocer el resultado del examen de ingreso Laura se echó a llorar de alegría.

入学試験の結果を知るやいなやラウラは嬉しさのあまり泣き出した。

続いて“desde que〜”「〜以来」と“hasta que〜”「〜まで」を取り上げてみましょう。例文としてラテンアメリカの曲の歌詞から挙げてみます。

**Desde que** te vi, una flecha me clavaste con amor.

君を見て以来、愛の矢が僕を打ち抜いた。(チリのポップグループ Natalinoの曲"Desde que te vi"の歌詞より)

**Yo era muy feliz hasta que** te conocí.

君と知り合うまで僕はとても幸せだった。(メキシコの歌手 Juan Gabrielの曲"Hasta que te conocí"の歌詞を少し改変)

さらにいくつか表現を見ていきましょう。“ahora que”は「今や〜だから」を表します。

**Ahora que** la línea de alta velocidad ha conectado Toyama con Tokio es natural que haya muchos más turistas que antes.

今や新幹線は東京と富山を繋いだのだから以前よりずっと観光客がいるのも当然だ。

次は“siempre que”「〜するときはいつも」です。意味が近いものに“cada vez que”「〜する度に」もあります。

**Siempre que** necesites la ayuda no dudes en pedírmela.

助けが必要な時はいつも私にそれを求めるように。

単純に見えがちな時の表現も意外に多彩であることに気づかれたでしょうか。¡Hasta la vista!



仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語一文法と演習』(共著、同友社)などがある。